

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社イード 上場取引所 東  
 コード番号 6038 URL <http://www.iid.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮川 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 久岡 千恵 (TEL) 03(6635)0000  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	4,611	7.9	508	△22.8	510	△21.9	335	△24.9
2022年6月期第3四半期	4,273	2.5	658	47.7	653	35.6	446	△19.2

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 456百万円( 0.9%) 2022年6月期第3四半期 452百万円( △19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	67.30	67.03
2022年6月期第3四半期	91.09	89.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	5,993	4,472	71.1
2022年6月期	5,169	3,828	72.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 4,259百万円 2022年6月期 3,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	7.6	520	△18.5	520	△18.5	350	△22.4	69.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社

2022年11月1日付でエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年6月期3Q	5,062,600株	2022年6月期	5,026,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	52,338株	2022年6月期	98,393株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年6月期3Q	4,978,858株	2022年6月期3Q	4,898,663株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は4,611,207千円（前年同期比7.9%増加）、営業利益は508,620千円（前年同期比22.8%減少）、経常利益は510,672千円（前年同期比21.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は335,071千円（前年同期比24.9%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）

CP事業におきましては、当第3四半期連結累計期間に、自動車関連事業を行うエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し連結子会社としました。また事業譲受等によりビジネスパーソン向けのメディア「決算が読めるようになるノート」、金融・投資関連メディア「庶民のIPO」などの運営を開始しました。さらに、事業開発により2つのメディアの運営を開始するなど事業拡大を図っております。

当第3四半期連結累計期間においてはM&Aによる事業拡大により、データ・コンテンツ提供売上※2は、1,770,533千円（前年同期比33.4%増加）、システム売上※4は683,958千円（前年同期比27.1%増加）と大きく増加しました。また、ネット広告売上※1は、運用型広告の単価下落の影響などで1,305,713千円（前年同期比3.4%減少）、出版ビジネス売上※3は、新型コロナの収束による「巣ごもり需要」の反動などで376,904千円（前年同期比16.0%減少）となりました。

一方、社会経済環境は依然として先行き不透明感が強く、例年CP事業全体として、主要な顧客の年度末である3月に向けて、追加的な広告出稿など利益率の高い案件受注が大きく積み上がるところ、当期は想定を割り込む結果となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は4,098,575千円（前年同期比12.7%増加）、セグメント利益（営業利益）は394,918千円（前年同期比19.5%減少）となりました。

#### ② クリエイターソリューション事業（CS事業）

CS事業におきましては、リサーチソリューション及びECソリューションとも、前年同期と比較して、粗利率の高い大型案件の受注が少なく、売上高、営業利益ともに減少となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は512,631千円（前年同期比19.6%減少）、セグメント利益（営業利益）は113,702千円（前年同期比32.4%減少）となりました。

※1 ネット広告売上とは主に以下による広告売上

- ・運用型広告：アドネットワーク（異なる複数の広告媒体を束ねてネットワーク配信する仕組み）による売上
- ・アフィリエイト広告：成果報酬型のインターネット広告。商品購入や資料請求などの、最終成果またはクリックが発生した件数に応じて広告費用を支払う。
- ・提案型広告：Webメディア側による企画・提案または顧客の要望に基づいて制作する広告
- ・純広告：バナー広告、メール広告など

※2 データ・コンテンツ提供売上とは、主にコンテンツ、データ、商品、サービスの販売、提供（B2B含む）による売上

※3 出版ビジネス売上とは、主に雑誌販売による売上

※4 システム売上とは、主にメディア向け・EC向けのシステム及びデータセンター管理用システムの提供、運営支援による売上

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,993,430千円（前連結会計年度末比824,023千円増加）となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間においてエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は1,521,361千円（前連結会計年度末比180,653千円増加）となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間においてエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,472,068千円（前連結会計年度末比643,369千円増加）となりました。主な増減は、利益剰余金の増加323,093千円、非支配株主持分の増加146,267千円、その他有価証券評価差額金の増加100,732千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期連結業績予想につきましては、2022年8月12日に公表しました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年5月12日)公表いたしました「2023年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,905,294	2,919,312
受取手形、売掛金及び契約資産	836,071	1,084,553
商品及び製品	106,781	119,673
仕掛品	16,509	18,045
貯蔵品	65	2,146
その他	228,667	180,842
貸倒引当金	△42,597	△56,861
流動資産合計	4,050,793	4,267,712
固定資産		
有形固定資産	123,725	205,051
無形固定資産		
のれん	172,831	398,741
その他	50,322	180,083
無形固定資産合計	223,153	578,825
投資その他の資産		
投資その他の資産	772,835	942,942
貸倒引当金	△1,101	△1,101
投資その他の資産合計	771,734	941,841
固定資産合計	1,118,613	1,725,718
資産合計	5,169,407	5,993,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	299,961	318,833
電子記録債務	43,978	55,193
1年内償還予定の社債	-	20,000
1年内返済予定の長期借入金	80,000	154,652
未払法人税等	106,568	21,594
賞与引当金	10,790	43,990
ポイント引当金	6,351	6,247
返金負債	55,780	52,285
その他	454,008	361,084
流動負債合計	1,057,439	1,033,882
固定負債		
長期借入金	220,000	301,986
役員退職慰労引当金	114	114
資産除去債務	41,093	53,700
その他	22,060	131,678
固定負債合計	283,268	487,479
負債合計	1,340,708	1,521,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,053	899,524
資本剰余金	884,975	901,446
利益剰余金	2,078,309	2,401,402
自己株式	△85,537	△45,202
株主資本合計	3,760,800	4,157,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,797	102,529
その他の包括利益累計額合計	1,797	102,529
非支配株主持分	66,101	212,368
純資産合計	3,828,699	4,472,068
負債純資産合計	5,169,407	5,993,430

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,273,714	4,611,207
売上原価	2,263,730	2,518,164
売上総利益	2,009,983	2,093,042
販売費及び一般管理費	1,351,337	1,584,421
営業利益	658,646	508,620
営業外収益		
受取利息	1,557	1,561
受取配当金	4,000	4,700
為替差益	19,078	842
固定資産受贈益	3,237	-
その他	5,046	6,741
営業外収益合計	32,920	13,845
営業外費用		
支払利息	1,182	1,585
投資事業組合運用損	-	3,816
持分法による投資損失	21,164	2,471
貸倒引当金繰入額	14,762	-
その他	531	3,921
営業外費用合計	37,639	11,794
経常利益	653,926	510,672
特別利益		
投資有価証券償還益	-	39,999
負ののれん発生益	20,181	-
特別利益合計	20,181	39,999
特別損失		
投資有価証券評価損	21,002	-
特別損失合計	21,002	-
税金等調整前四半期純利益	653,105	550,672
法人税、住民税及び事業税	165,572	110,837
法人税等調整額	34,022	84,397
法人税等合計	199,594	195,234
四半期純利益	453,510	355,437
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,268	20,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	446,241	335,071



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	453,510	355,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	100,732
為替換算調整勘定	△1,192	-
その他の包括利益合計	△1,192	100,732
四半期包括利益	452,318	456,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	445,049	435,803
非支配株主に係る四半期包括利益	7,268	20,366

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2021年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2021年8月16日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付けを行い、当社普通株式120,000株を取得いたしました。この結果、第3四半期連結累計期間において自己株式が103,800千円増加しております。また、新株予約権の行使により、自己株式が35,437千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(資本金の額の減少)

当社は、2023年2月28日開催の取締役会において、2023年5月24日開催予定の臨時株主総会に資本金の額の減少について付議することを決議いたしました。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少すべき資本金の額

資本金の額899,524,500円のうち849,524,500円を減少し、50,000,000円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数を変更することなく、資本金の額を減少するものです。減少する資本金の額の全部をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

## 3. 資本金の額の減少の日程

- (1) 取締役会決議日 2023年2月28日  
 (2) 債権者異議申述公告日 2023年3月24日  
 (3) 債権者異議申述最終期日 2023年4月24日  
 (4) 臨時株主総会決議日 2023年5月24日(予定)  
 (5) 減資の効力発生日 2023年5月25日(予定)

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	クリエイター プラットフォーム 事業	クリエイター ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,635,912	637,801	4,273,714	—	4,273,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,635,912	637,801	4,273,714	—	4,273,714
セグメント利益	490,401	168,244	658,646	—	658,646

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	クリエイター プラットフォーム 事業	クリエイター ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,098,575	512,631	4,611,207	—	4,611,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,098,575	512,631	4,611,207	—	4,611,207
セグメント利益	394,918	113,702	508,620	—	508,620

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

クリエイタープラットフォーム事業において、2022年11月1日付でエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の70.7%の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、162,314千円であります。